

令和3年度 投資事業評価調書（継続：再評価〔第2回〕）

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 田中 秀典 (県道班長 高田 隆史)	内線	4362 (4376)	
事業種目	道 路	新規評価年度	平成25(2013)年度	現計画	前回評価時点	
事業名	東播磨南北道路 (主要地方道 かこがわおの 加古川小野線)	事業採択年度	平成26(2014)年度	総事業費	460億円	
		着工年度	平成28(2016)年度	内用地補償費	110.5億円	
		再評価年度	平成30(2018)年度	完成予定年度	令和6 (2024)年度	令和6 (2024)年度
事業区間	やはたちょう いけじりちょう 加古川市八幡町～小野市池尻 町	進 捗 率 (用補進捗率)		約59% (100%)	約14% (35%)	
		残事業費		187億円	326 億円	
事業の目的			事業内容 ( ) 前回評価時点			
<p>地域高規格道路である東播磨南北道路(東播磨道)は、加古川市の加古川バイパスと小野市の国道 175 号を結ぶ自動車専用道路である。</p> <p>○地域の連携・交流の促進 本事業により、東播磨と北播磨地域との所要時間を短縮し、地域の連携・交流を促進するとともに、沿線市町の活性化を図る。</p> <p>○地域の安全・安心の向上 東播磨地域の南北交通を効率的に処理し、交差点における渋滞の緩和や交通事故の減少など安全で円滑な交通を確保する。また、北播磨総合医療センターをはじめとする北播磨地域の医療機関と県立加古川医療センター(三次救急医療機関、災害拠点病院)との連携強化を図る。</p>			<p>【延 長】自動車専用道路 6,900m 八幡稲美ランプ～(仮)八幡北ランプ 2.5km [4車線] (仮)八幡北ランプ～(仮)国道175号ランプ 4.4km [2車線] 【構造規格】第1種第3級 【計画幅員】 八幡稲美ランプ～(仮)八幡北ランプ 暫定2車線 車道7.0m [全幅12.7～13.5m] 完成4車線 車道14.0m [全幅18.7～19.0m] (仮)八幡北ランプ～(仮)国道175号ランプ 2車線 車道7.0m [全幅12.7～13.5m] 【計画交通量〔暫定2車線〕】:R12予測 八幡稲美ランプ～(仮)八幡北ランプ 20,800台/日(21,300台/日) (仮)八幡北ランプ～(仮)国道175号ランプ 10,300台/日(10,500台/日) 【負担割合】国:55%、県:45%</p>			
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	<p>① 本事業区間終点側の小野市市場地区にて小野市と県企業庁により新産業団地の整備が進められ、令和元年度に一部区画の分譲を開始し、令和3年度には全区画の分譲を開始する予定である。</p> <p>② 平成31年度に北播磨総合医療センターで高齢者福祉施設、令和2年度に加古川医療センターで総合在宅センターが開設され、新たな医療拠点が形成されている。</p> <p>【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】</p> <p>① 本事業区間終点側の国道175号接続に伴い国道管理者との協議の結果、国道175号の一部区間の拡幅による渋滞緩和対策が必要となったことにより、工事費を約21億円増額する。</p> <p>② 関係機関との協議の結果、交通事故や故障車両等、リアルタイムで道路状況を把握するとともに、迅速に情報発信する必要があることから、安全施設及び電気通信施設の追加等により、工事費を約48億円増額する。</p> <p>③ 支障物件における物件調査の結果、補償費を約11億円増額する。</p>					
進捗状況	<p>① 進捗率は事業費ベースで59%、用地取得で100% (令和3年度末予定)</p> <p>② 平成29年度に橋梁下部工事や道路改良工事に着手し、現在、全区間に渡り橋梁工事等を実施し、早期に全線供用に向け、工事進捗を図る。</p>					
評価視点	評価結果の説明					
審査会意見及び 対応方針 (H30年度再評価)	【審査会意見】継続妥当 東播磨地域と北播磨地域との救急医療の連携強化	【対応方針】 令和3年3月に用地取得を完了し、全区画、地域間の連携・交流の促進が期待できる重要な間に渡り工事を実施している。今後、早路線であることから、早期完了に努められたい。期完了を目指し事業進捗を図る。				
(1)必要性	<p>・東播磨地域と北播磨地域の移動時間短縮により、連携・交流を促進するとともに、沿線市町の活性化を図る。</p> <p>・通過交通の転換により、渋滞緩和や交通事故の減少など、安全で円滑な交通を確保する。</p> <p>・災害発生時には、東播磨地域と北播磨地域を結ぶ主要な緊急輸送道路となる。</p>					
(2)有効性 ・効率性  (執行環境状況)	<p>① 費用便益比B/C=1.2(全体)(前回評価時点B/C=1.4)、B/C=2.9(残事業)</p> <p>② 完成後の現道の管理引継について、加古川市・小野市・三木市と協議が整っている。</p> <p>③ 重篤患者の死亡率の減少を目指し、県立加古川医療センターへの救急搬送時間を短縮する。</p> <p>④ 沿線の4市2町で東播磨南北道路建設促進期成同盟会を組織するなど、地域の協力体制が整っている。</p>					
(3)環境適合性	<p>① 八幡北ランプ以南は、県の「環境影響評価に関する条例」に基づき、環境影響評価を実施し、また、八幡北ランプ以北は条例対象外で自主的に環境影響評価を実施した。</p> <p>② 供用後に、事後監視調査(騒音・振動、生物の生態調査等)を実施する予定である。</p>					
(4)優先性	<p>① 安全で円滑な交通を確保するため、早期に事業を完了させる必要がある。</p> <p>② 南工区の供用後、八幡稲美ランプ周辺では交通渋滞が発生しているため、早期に全線を供用する必要がある。</p>					
再評価の 結果	継続	左の 理由	事業の必要性は事業採択当時と変わっておらず、用地取得や道路改良工事等が進められていること、また、東播磨南北道路建設促進期成同盟会をはじめ早期供用を望む地域からの要望は依然として強いことから、継続して早期に事業を完了する必要がある。			

事業進捗状況概要図（継続：再評価〔第2回〕）

事業名	道路事業	路線・河川名	東播磨南北道路 主要地方道 加古川小野線
<p>出典：国土地理院</p>			
事業進捗状況・予定		整備効果	
全体 H26(2014) ~ R6(2024)	<b>【事業費＝約 460 億円】</b> 延長 6,900m 八幡稲美ランプ～(仮)八幡北ランプ：暫定 2 車線 (仮)八幡北ランプ～(仮)国道 175 号ランプ：完成 2 車線 橋梁 7 橋、用地：26 万㎡ 物件補償：78 件（鉄塔移設 2 基含む）		
前回再評価 まで (実績)	<b>【事業費＝約 54 億円】</b> 事業進捗率 14%、用地進捗率 35% ・用地取得面積 14 万㎡ ・本線の橋梁7橋のうち3橋梁の下部工に着手		
過去 3 年間 H30(2018) ~ R3(2021)	<b>【事業費＝約 241 億円】</b> 事業進捗率 59%、用地進捗率 100% ・用地取得面積 12 万㎡ ・全区間に渡り、橋梁工事に着手		
今後 3 年間 (予定) R4(2022) ~ R6(2024)	<b>【事業費＝ 187 億円】</b> 令和 6 年度 全線供用予定	①地域の連携・交流の促進 ②地域の安全・安心の向上	

# 道路事業 東播磨南北道路 主要地方道 加古川小野線〔北工区〕

## 位置図



出典: 国土地理院

## 目的

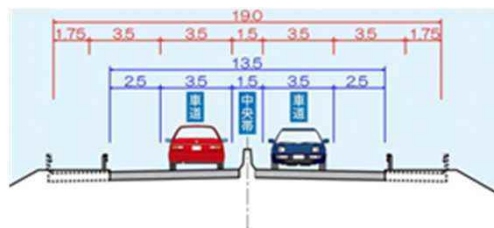
- ①地域の連携・交流の促進
- ②地域の安全・安心の向上

## 事業概要

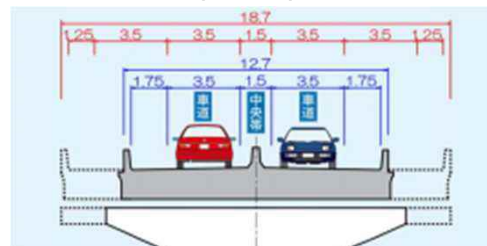
事業区間 : 加古川市八幡町～小野市池尻町  
 総事業費 : 460億円  
 内用地補償費 : 110.5億円  
 事業期間 : H26(2014)年度～R6(2024)年度  
 事業概要 : 自動車専用道路  
 延長 : 6,900m  
 費用便益比B/C : 1.2(全体)、2.9(残事業)

## 横断図

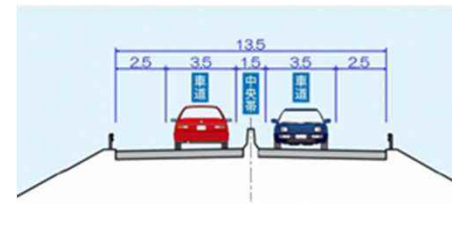
完成4車線区間  
 八幡稲美ランプ～(仮)八幡北ランプ  
 <盛土部>



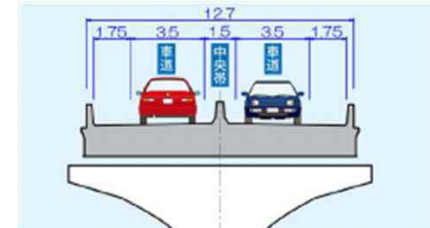
<高架部>



完成2車線区間  
 (仮)八幡北ランプ～(仮)国道175号ランプ  
 <盛土部>



<高架部>



## 事業の必要性・優先性

- ①東播磨地域と北播磨地域の移動時間短縮により、連携・交流を促進するとともに、沿線市町の活性化を図る。
- ②通過交通の転換により、渋滞緩和や交通事故の減少など、安全で円滑な交通を確保する。
- ③災害発生時には、東播磨地域と北播磨地域を結ぶ主要な緊急輸送道路となる。

## 平面図



## 現況写真

### ①供用済区間(南工区)



### ②東播磨南北道と併走する道路の渋滞発生状況

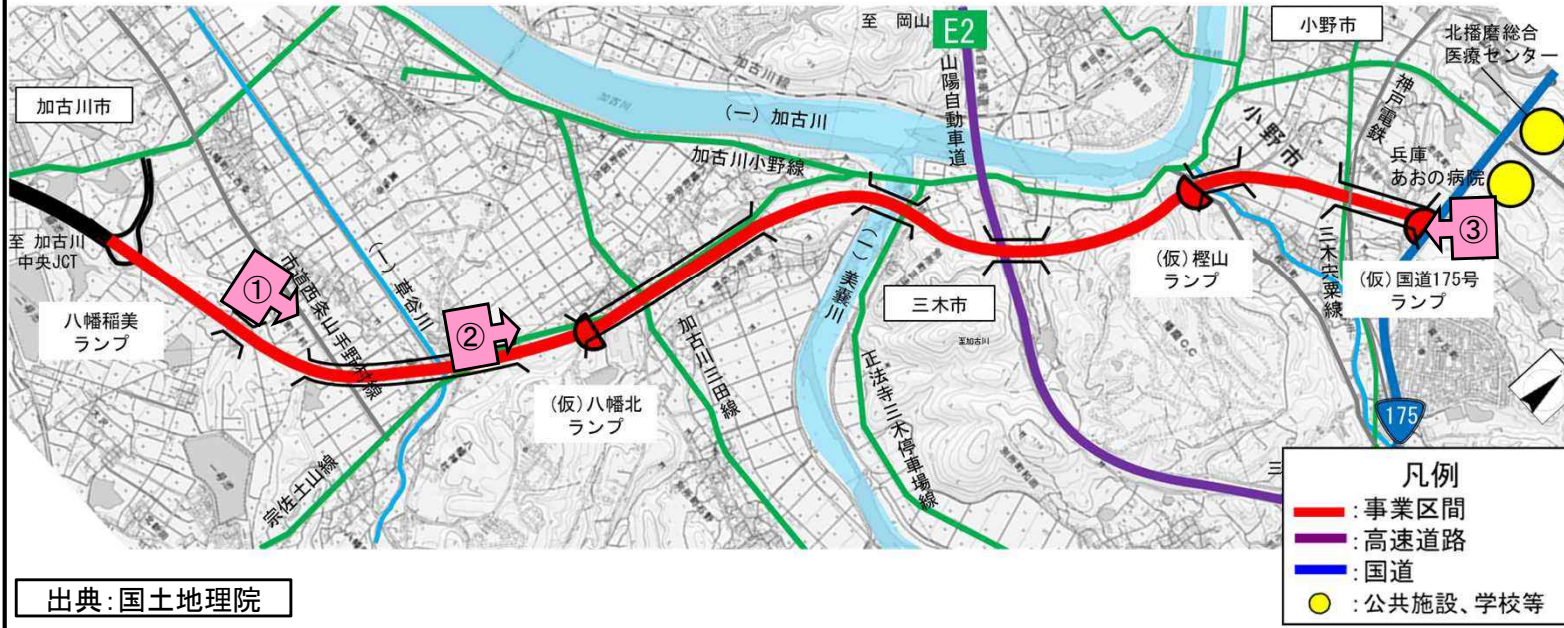


### ③神戸加古川姫路線(下道)の冠水



# 進捗状況

## 事業進捗平面図



## 工程表

■ : 前回計画 (H30)  
 ■ : 実施・計画

工種	年 度										
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査設計	■	■	■	■	■	■	■				
用地補償				■	■	■	■	■			
埋蔵文化財調査				■	■	■	■	■			
道路改良工事				■	■	■	■	■	■	■	■
橋梁工事				■	■	■	■	■	■	■	
橋梁工事							■	■	■	■	■

# 現況写真

## ① 工事進捗状況(下村高架橋)



## ② 工事進捗状況((仮)八幡北ランプ)



## ③ 工事進捗状況((仮)国道175号ランプ)



# 事業の有効性・効率性

## (1) 費用対効果

### ① 便益(B)の項目

評価の視点	効果項目(費用対効果の便益内容)
① 走行時間短縮便益 目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	整備無しの走行時間費用－整備有りの走行時間費用 走行時間費用: $\Sigma(\text{交通量} \times \text{走行時間}) \times \text{時間価値原単位} \times 365\text{日}$
② 走行経費減少便益 交通の流れがスムーズになり燃費などが向上することによる便益	整備無しの走行経費－整備有りの走行経費 走行経費: $\Sigma(\text{交通量} \times \text{距離}) \times \text{走行経費原単位} \times 365\text{日}$
③ 交通事故減少便益 交通事故が減少することによる便益	整備無しの事故損失額－整備有りの事故損失額 事故損失額: $\Sigma[\text{交通量} \times \text{距離} \times \text{交差点以外の事故損失原単位} + \text{交通量} \times \text{主要交差点数} \times \text{交差点部事故損失原単位}]$

### ② 費用便益費(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		代表的な効果	C(費用)			B/C	
		便益額(百万円)			総費用(百万円)	事業費(百万円)	維持管理費(百万円)		
道路	東播磨南北道路(加古川小野線)	全体事業費	① 走行時間短縮便益	51,583	時間短縮: 41.6分 → 31.8分 計画交通量: 20,800台/日	45,930	42,248	3,682	1.2
			② 走行経費減少便益	3,412					
			③ 交通事故減少便益	1,157					
			計	56,152					
		残事業費	① 走行時間短縮便益	51,583	時間短縮: 41.6分 → 31.8分 計画交通量: 20,800台/日	19,388	15,706	3,682	2.9
			② 走行経費減少便益	3,412					
			③ 交通事故減少便益	1,157					
			計	56,152					

## (2) 費用対効果に含まれない効果

評価の視点	効果項目	該当する事業内容等	
①安全・安心の確保 (災害時)	緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保 (緊急輸送道路の整備、防災拠点・災害拠点病院へのアクセス道路の整備)	○	緊急輸送道路である加古川小野線のバイパス 県立加古川医療センター(災害拠点病院)へのアクセス
	救助・救援活動の支援 (災害時の通行不能や孤立集落の解消)	○	H16台風23号で冠水被害を受けた加古川小野線の代替機能の確保
	減災対策への取り組み (二線堤道路、避難路・避難場所としての機能、延焼防止機能の確保)	○	盛土区間等浸水時の避難場所の確保
①安全・安心の確保 (平時)	救急医療体制の支援	○	北播磨地域の医療機関と県立加古川医療センター(3次救急)との医療連携の強化
	交通安全対策	○	通過交通のバイパス転換による、地域の交通安全の確保
②地域の活性化	地域間交流の促進	○	東播磨地域と北播磨地域の移動時間短縮による交流の促進
	中心市街地の活性化	○	沿岸部と内陸部の移動時間短縮によるアクセス強化
	地域産業の活性化	○	東播磨地域と北播磨地域の移動時間短縮による地域産業の相互連携
	観光支援	○	東播磨地域と北播磨地域の移動時間短縮による観光資源の相互連携
	地域プロジェクト等支援	-	-
③円滑な交通体系の確保	公共交通機関利用の促進 交通結節機能の向上	○	渋滞解消に伴う路線バスの定時性確保
④地域の環境改善	沿道環境の改善 景観形成	○	通過交通がバイパスへ転換することによる沿道環境の改善

## (3) 地域からの要望状況等

要望状況等	<p>① 沿線の4市2町で構成された東播磨南北道路建設促進期成同盟会は、早期整備の必要性について地域住民の理解と協力を求める啓発活動等、地域の協力体制が整っている。</p> <p>② 事業説明会の開催などを通じて、地元と十分に連携を図り事業を進めている。</p>
-------	---